

# 平成27年度 第4回 市川市自立支援協議会

日 時：平成28年3月17日（木）  
午前10時～12時

場 所：大洲防災公園管理事務所  
2階 会議室

## 会 議 次 第

- 1 開会
- 2 各専門部会・障害者団体連絡会の状況について
- 3 専門部会のあり方について
- 4 その他
- 5 閉会

## I 取組み報告

## ◎サービス等利用計画作成状況

## 障害者支援課

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
利用件数	2088	2093	2110	2121	2121	2114	2102	2110	2109	2124	
作成済み	1824	1829	1864	1886	1912	1924	1929	1948	1954	1978	
(セルフ)	855	847	856	861	878	879	872	888	876	881	
(計画相談)	969	982	1008	1025	1034	1045	1057	1060	1078	1097	
達成率	87.4	87.4	88.3	88.9	90.1	91	91.8	92.3	92.7	93.1	

## 発達支援課

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
利用件数 (実人数)	349	390	435	492	543	577	622	665	665	668	
作成済み	41	45	57	51	34	45	43	665	665	668	
(セルフ)	38	42	50	44	44	41	35	606	602	602	
(計画相談)	3	3	7	7	8	4	8	59	63	66	
達成率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

## ◎相談支援部会関連会議について

- ・権利擁護連絡会
- ・地域移行支援協議会（別紙参照）
- ・障害児連絡会（別紙参照）
- ・Is-net（別紙参照）

## ◎“場”の検討

- ・えんつむり（長期継続相談者・事業未利用者への取組み）

全5回開催 参加者：合計9名+子供2名

B型の利用を開始したり次の開催期待の声もあった 現在、取りまとめ検証中

- ・アクセス ケース会議

9/9～12/9 にかき全6回開催

全てのケースについて生活支援ニーズがあり継続的にかかわる支援機関が必要。最初から支援機関の関わりが必要。

## ◎ガイドライン改訂及びマニュアル作成について

\*ガイドライン改訂：平成27年度版をガイドライン研修にて配布

\*マニュアル作成：マイナンバーや支給量等の掲載も考慮し現在、精査中

### ◎ガイドライン研修について

目的：相談支援の質の向上及び制度、関係機関、社会資源の周知

\*第1回 1/20（水）18：00～20：00 受講者：73名（医師やMSW 受講）

振り返り、再認識出来た。

\*第2回 2/23（火）18：00～20：00 受講者：83名

児童について初の研修となった。関係機関等の紹介や連携・連絡の仕方など解り易かったと好評だった。

\*第3回 3/10（木）18：00～20：30 受講者：53名

2回目の事例のアセスメントをもとに障害時支援利用計画作成の演習を行った。グループワークでの意見交換や、計画作成にあたっての視点の共有が好評だった。

課題：学校との連携について、チームアプローチ、興味を持って頂いている事業者等対象の研修内容の必要性。発達障害や精神障害、困難事例、新人研修やサブ研修なども含め専門的な研修など回数を充実。グループワークの指示の仕方（視覚的に）や少人数で計画を作れる環境づくり

### ◎今年度の取組から見える課題について

\*計画とサービスの分離⇒人材確保後の課題

\*セルフプランから計画相談への移行⇒人材確保後の課題

\*親の就労⇒基幹支援での対応可？

\*放課後等デイサービスへの提案⇒連絡会へ課題提案

\*障害児：ライフステージのつなぎ⇒連絡会への課題提案

学校と相談支援専門員の連携。相談支援事業所増

⇒2/1付新規事業所 行徳エリア らいおんハートクリニック 児童相談支援

\*就労移行：事業者の質の確保（事業者への行政指導・周知）⇒連絡会への課題提案

\*マイナンバー取扱について

## II 次年度の課題及び取組み（案）

### ①人材確保・育成

●年数回、相談支援専門員研修会開催（年数回）

・行政からの事務連絡、現状、今後の報告

・管理者研修

●サービス事業所への啓発・周知活動

・事業所対象に事業申請の依頼や定期研修、説明会を実施

●協議会として大学、専門学校及び高校への訪問・呼びかけ、実習受入れ

### ②基幹相談支援

市からの方向性提示と実施にむけての検討

③地域生活支援拠点

生活支援部会からの提案を受け検討

④各連絡会との連携・課題提案

⑤啓発

- ・当事者・家族向けの周知活動（説明会やパンフレット作成等…）
- ・インフォーマル

⑥ガイドライン・マニュアル改訂

- ・Sora、成年後見を入れる

⑦ガイドライン研修

平成 27 年度 地域移行支援協議会・活動報告

1. 開催 6回 (4/16 6/11 8/27 10/15 12/10 2/25)
2. 場所：南八幡ワークス 中作業室
3. 式場病院、中山病院、国府台病院、地域生活支援センターCan、がじゅまる、サポートネット国府台、ほっとハート相談支援事業所リンク、浦安市基幹相談支援センター、ACTIPS 相談支援センター、浦安市ソーシャルサポートセンター、浦安市障がい福祉課、市川市障害者支援課、千葉県健康福祉部障害福祉課、千葉県精神保健福祉センター相談支援課、市川市障害者地域生活支援センター、市川市南八幡メンタルサポートセンター、市川健康福祉センター、事務局（サンワーク相談支援事業所）
4. 議事
  - 1) 平成 27 年度の地域移行支援事業に関する県の情報提供
    - ①千葉県精神障害者地域移行支援事業
      - ・長期入院の考え方
      - ・遠隔地退院支援事業
    - ②千葉県総合支援協議会精神障害者地域移行推進部会
      - ・地域移行、定着協力病院
      - ・地域移行アンケート
      - ・ピアサポーター養成研修事業
  - 2) 平成 27 年度の市川・浦安圏域地域移行支援協議会の事業
    - ① 病院、地域の課題の共有
      - ・病院内の研修  
(病院内の年間研修計画に組み込んでもらい、地域移行支援事業を知ってもらう。)
    - 6/26 中山病院
      - ・施設見学会  
(病院職員の方に地域の施設見学をしてもらう。)
    - 11/12 ほっとハート 11/19 サンワーク 11/26 Mネット
  - ② 普及啓発活動
    - 3/24 「住居を考える」研修会 富田不動産
  - ③ 課題
    - ・地域移行支援を中断したケースがある。(中断理由を集約する予定)
    - ・他圏域の地域移行に窮している。  
(遠隔地支援が機能していない)
    - ・住居確保が困難で退院できない事例がある。  
(住居問題をテーマに研修会を行う)

市川・浦安圏域連携コーディネーター 酒井範子

(活動実績)

- ・ 本会（関係機関及び事業所の代表者が出席）  
6月17日、11月18日、2月17日の計3回実施。  
各関係機関における支援等の実施状況や課題等に関する報告と協議を実施しました。
- ・ 情報交換会（障害児支援事業所の職員等が出席）  
7月14日、10月7日、1月15日の計3回実施。  
各事業所間の情報交換や職員同士のネットワーク作りに取り組みました。
- ・ 研修会（一般にも広報して参加募集）  
3月6日に実施。言葉とコミュニケーションをテーマとした研修会を実施しました。

(活動内容)

- ・ 障害児支援に関する公的協議機関の設置について  
障害児支援に関する公的で横断的な協議の必要性を訴えてきました。平成28年度より「こども発達支援会議」の場で、障害児に関する協議検討をしていただけるようになりました。
- ・ 地域における課題の検討  
本会及び情報交換会で提起された内容については、相談部会を通じて提案させていただいたり、事務局（障害者支援課）を通じて事実確認をしていただきました。
- ・ ライフサポートファイルの整備  
昨年度からの継続課題として協議しました。当年度から、発達支援課が主導して具体的な検討を進めていただけることになり、逐次経過報告をしていただきました。平成28年度からの実施に向けた準備と検討をしていただいています。
- ・ 関係者のネットワーク作り  
平成24年度の制度改正以降、障害児支援事業所の新規参入や増設等が続いたため、地域の事業者や関係者のネットワーク作りを喫緊の課題として取り組みました。情報交換会を通じて「顔の見える関係」が形成されるようになりました。
- ・ 事業所ガイドブックの作成  
幹事会が中心となり、市内の障害児支援事業所のガイドブック作りに取り組みました（利用者向け）。現在、草案が最終稿段階にあります。完成後は、市川市公式ホームページへのUP、市役所福祉窓口での配布等を予定しています。
- ・ 幹事の改選  
来年度からの「こども発達支援会議」の開催、平成24年度の制度改正以降の地域における支援体制の定着等から、障害児支援連絡会の当初の目的は一定の成果をもって達成されました。  
については、平成28年度からは、地域の障害児支援事業者の連絡協議の場として、幹事を改選して新体制で活動を継続する事になりました。

(代表幹事・保戸塚 記)

平成 27 年度 市川障害児者相談支援事業所連絡協議会 事業報告

1. 加入者数 正会員 23 特別会員 11 計34会員

2. 研修会・情報交換会・幹事会等

月	日	内 容	備 考
4	16	総 会（決算報告・予算案提出）	勤労福祉センター分館
6	23	初任者基礎研修	南八幡メンタルサポートセンター
7	17	第1回幹事会（研修担当者の配置）	南八幡メンタルサポートセンター
9	16	第2回幹事会(研修会等内容検討)	南八幡メンタルサポートセンター
10	28	初任者研修会	急病診療・ふれあいセンター
11	4	第3回幹事会（事例演習内容検討）	勤労福祉センター分館
11	27	情報交換会・懇親会（マニュアル等）	アイ・リンクホール
12	11	事例演習・懇親会	勤労福祉センター本館
1	20	第4回幹事会（次年度事業計画立案）	南八幡メンタルサポートセンター
3	16	第5回幹事会（総会資料作成等）	南八幡メンタルサポートセンター
3	31	監 査	南八幡メンタルサポートセンター

3. 役 員

任期：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

役職名	氏 名	所 属
会 長	保戸塚 陽一	こども発達支援センターやわた
副会長	酒井 範子	サンワーク相談支援事業所
副会長	金 聖華	サポートネット国府台
事務局長	三浦 健	やまぶき園
会 計	内野 智美	一般財団法人 市川市福祉公社
監査役	松尾 明子	ほっとハート相談支援事業所リンク
幹 事	宇野 健司	地域生活支援センターCan
幹 事	市坪 歩海	地域生活支援センターCan
幹 事	新福 義博	寺子屋ミニディサービスの会
幹 事	上田 昌広	ACTIPS相談支援センター
幹 事	西野 美喜子	SSU介護サービス

## 生活支援部会 活動報告および計画案

### 1. 平成 27 年度報告

○部会を 5 回、幹事会を 3 回開催し、関連会議（居宅支援連絡会・日中活動連絡会・グループホーム等連絡協議会・重心サポート会議）からの報告を受け、情報共有および情報交換、部会の再編についての意見交換を行いました。さらに、is-net、障害者団体連絡会等の関連団体との情報共有も行いました。

各連絡会・会議よりの活動報告等は別紙をご参照ください。

○市民の障害理解を促進するための取り組みとして、市川市との協働の元、以下のイベントを部会委員を中心とした実行委員会方式で実施しました。

#### (1) 10 月 31 日（土）和洋女子大学 里見祭でのハートフルツアーの実施。

当事者の参加は 10 名（当日キャンセル 2 名）であったが、初めて 4 名の重心児者の参加があった。ハートフルツアーの案内の大学祭のパンフレットへの掲載、車輛送迎の構内駐車許可など、大学側の協力をいただくことができた。

#### (2) 12 月 5 日（土）障害者週間イベント（I♥あいフェスタ）の実施。

延べ 8 回の実行委員会と担当別の打合せ等を経て、ニッケコルトンプラザ内コルトンホールでの開催に至った。同時に、生涯学習センター内（カフェテラスぴっころ・グリーンスタジオ）にて映画上映会およびミュージカル練習見学会等も実施。

コルトンホールの来場者数は 426 人、生涯学習センターへの来場者を加えると約 500 名の参加を得た。過去 2 年は市川市文化会館を会場としており、立地条件から関係者の来場比率が高かったが、来場者へのアンケートからは「通りがかり」、「会場前で配布していたチラシを見て」イベントを知った」という声も多く、市民への啓発の効果は非常に大きかったと考えられる。

### 2. 平成 28 年度計画

○地域生活支援拠点事業についての検討

第 2 次いちかわハートフルプランにおいて“平成 29 年度にひとつ”と計画されている地域生活拠点事業（以下拠点事業）に的を絞った検討を行うこととし、部会の委員を再編中です。

27 年度に実施した拠点事業の勉強会で“既存の資源や仕組みを活かす形で地域性を踏まえた構想が必要”とのご意見を講師よりいただいております、市川市で培われた実績やネットワーク等を拠点事業につなげる方策を考えていきます。

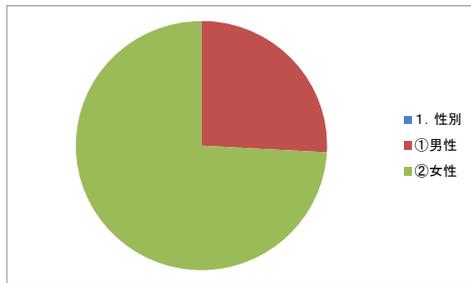
また、拠点事業の構想では『相談』『コーディネート』が重要な役割を担うことになるため、相談支援部会とも連携し検討していきます。

○啓発活動について

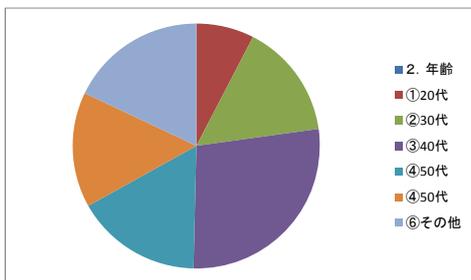
これまで生活支援部会を中心に実施してきたイベントについては、自立支援協議会全体のテーマとして実施主体等を含めた検討をお願いしたいと考えております。

平成27年度 | ♥ あい フェスタ あんけーと

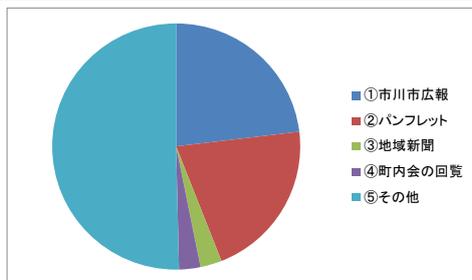
1. 性別	①男性	②女性
	37	106



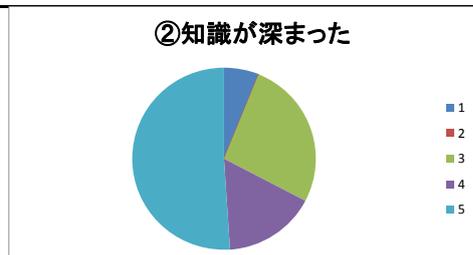
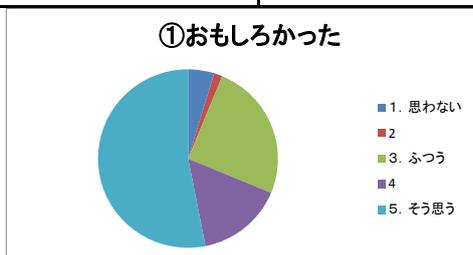
2. 年齢	①20代	②30代	③40代	④50代	⑤50代	⑥その他
	11	22	40	24	22	26
80歳 78歳 70代 8人 9歳 3人 10歳 2人 10代 5人						



3どこで知ったか	①市川市広報	②パンフレット	③地域新聞	④町内会の回覧	⑤その他
	33	30	4	4	72
・図書館・仕事関係・知り合いから5・かしい苑の先生から・通りがかり25・友人2・ロコミ・ふわふわ・ふわふわベーカーリーの知人・配っていたチラシ・手話ふれあい講座・事業所4・ポスター・家族・ウォーキング3・メンタルサポートセンター・子どもの学校が参加・					

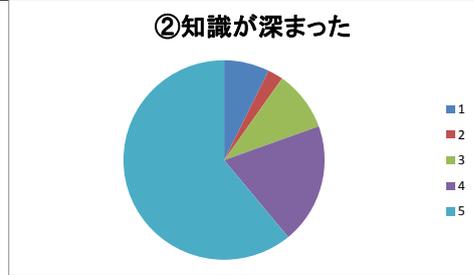
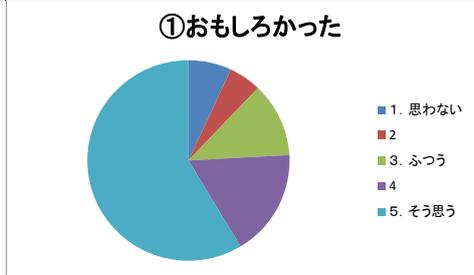


4. 市川南高校吹奏楽部の演奏	1. 思わない	2	3. ふつう	4	5. そう思う
①おもしろかった	3	1	16	10	34
②知識が深まった	3	0	13	8	25
③その他(コメント)	21 素敵でした。 健常者も心の障害者になってはいけないと思う。				

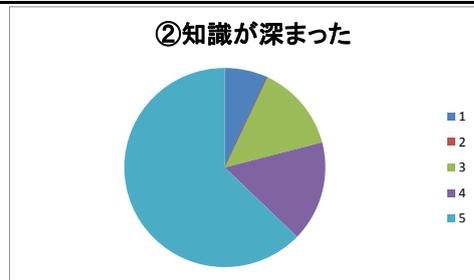
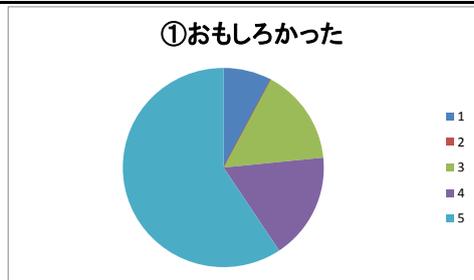


平成27年度 | ♥ あい フェスタ あんけーと

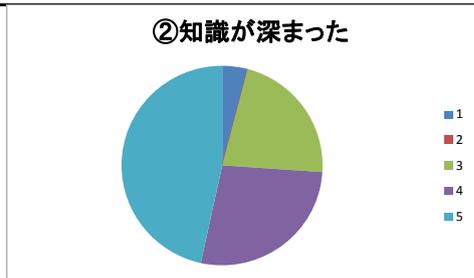
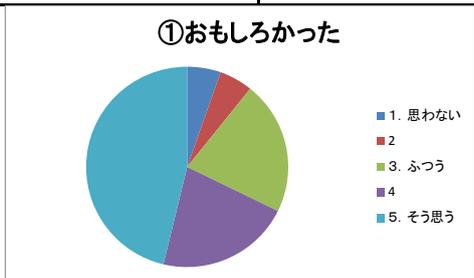
5. レンコンバンドの演奏	1. 思わない	2	3. ふつう	4	5. そう思う
①おもしろかった	4	3	7	10	34
②知識が深まった	3	1	4	8	25
③その他(コメント)	22 楽しめた追加があり楽しめました。楽しそうな雰囲気が伝わりました。楽しそうに音楽の力を体感しました。とても元気が出ました。				



6. チャレンジドミュージカル	1. 思わない	2	3. ふつう	4	5. そう思う
①おもしろかった	5	0	10	11	38
②知識が深まった	3	0	6	7	27
③その他(コメント)	20 エネルギッシュなステージとパフォーマンスでとても良かったです。本当に楽しそうにやっていた。10年も続けていて素晴らしいと思います。文字通り、障害の有無にかかわらず構成されたメンバーでの楽しそうなパフォーマンスでこちらも楽しくなりました。素晴らしかったです。				

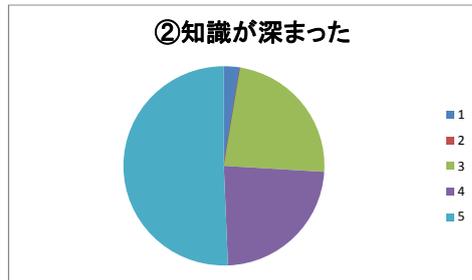
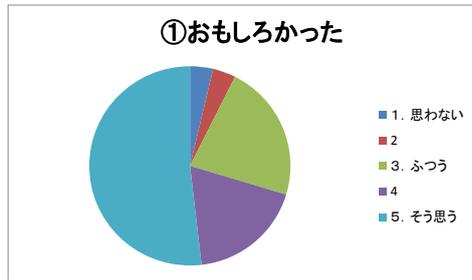


7. 体験コーナー・ワークショップ	1. 思わない	2	3. ふつう	4	5. そう思う
①おもしろかった	5	5	20	20	43
②知識が深まった	3	0	16	20	34
③その他(コメント)	5 楽しそうでした。一緒にやってみよう。				

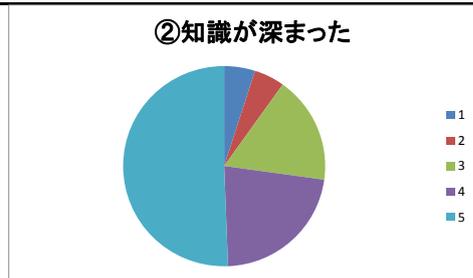
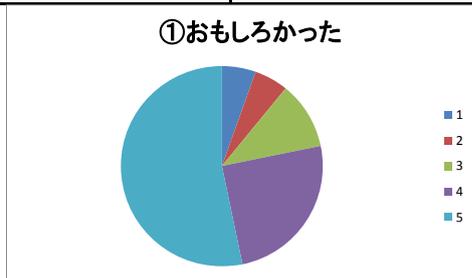


平成27年度 | ♥ あい フェスタ あんけーと

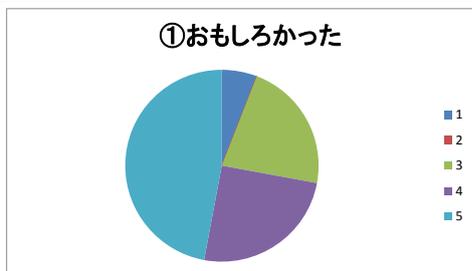
8. 盲導犬	1. 思わない	2	3. ふつう	4	5. そう思う
①おもしろかった	3	3	18	15	42
②知識が深まった	2	0	18	18	39
③その他(コメント)	4 体験してみたかった!!				



9. 福祉の店	1. 思わない	2	3. ふつう	4	5. そう思う
①おもしろかった	5	5	10	23	49
②知識が深まった	4	4	14	18	41
③その他(コメント)	6 いろいろな種類のパンがあって興味深かった。 蒸しパンを買いました。朝食に食べようと思います。 おもしろいと言うか、皆さんよくがんばっていました。 ちょうどギフトシーズンだからギフトボックスなどがあると良かった。 皆さんでいねいにきれいに作ってありますネ				



10. I♥わんグランプリ	1. 思わない	2	3. ふつう	4	5. そう思う
①おもしろかった	4	0	15	17	32
②その他(コメント)	4				



平成27年度 | ♥ あい フェスタ あんけーと

<p>11. どんな催しがあるとい いか（コメント）</p>	<p>22</p>
	<p>もっと大きなフェアが開催できたらいいですね。 子どもが親と一緒に参加できるものが多くあればよい。 ブースがもっとあっても良い。 またイベントやショップがあれば、楽しいと思います。 バザー、福祉の作品等。 体験する場、交流する場。 こういう場所で行っていると寄りやすい。 盲導犬の体験はなかなか出来ないのぜひいろいろな人に理解してもらい意味で次回もやってほしいです。 体験できて子供と一緒に楽しめるイベント。 工作(いろんな) この場所良いと思います。 今回のものを定例化。 オストメイトなど良く分かったので、点字ブロックのことなどもお知らせください。 もっとみんなに知ってもらいたい。 当事者が自分を表現するパフォーマンス。 「そら」の公演。 障害者(または要介護者)の保護者や家族の体験談が聞ける場。Q&amp;Aコーナー。 障害の有る無しの問題を特に意識しない世間ででありたい。 何人でも良い事なら又やってもらいたい。楽しそうです。 音楽をベースに障害者の方々が個性を発揮できる種目を！！ 演奏、みんな元気よく、とても楽しかったです。</p>
<p>12. 意見</p>	<p>43</p> <p>初めて来たが、楽しく良い企画。また来てみたい。 体験できて大変良かった。 盲導犬の体験をして初めて障害者の方の気持ちがわかりました。私たち人間ももっと気遣いをしなくてはいけないと思いました。 6歳の息子に発達障害があります。とても温かな雰囲気になり心が優しくなりました。みなさん、がんばってください。私の息子ががんばります。 子どもが楽しめました。 参加型のイベントがあり、とても良いと思います。 もう少し広いと良いかな。 コルトンであると行きやすくて良いです。 スタッフの皆様の熱意が伝わってきました。今後がんばってください。盲導犬の賢さ、大変さ、いろいろな人にわかってほしいです。 にぎやかそうで懐かしい顔にも会えて良かったです。 難しいかもしれませんが、晴れたら外でハシとか帰ると気持ち良さそうです。 明るく活気にあふれていました。笑顔がたくさん見られて嬉しかったです。 福祉関係の色々な事業所の事がわかりになりました。 点字を息子が学校で習った後だったので、とても良かったです。 障害者について知ることができるイベント良かったと思います。 また参加したいので、今後もやってほしいです。 間近でミュージカル等のイベントを見ることが出来て良かったです。子どもも興味をもって見ていました。ありがとうございました。</p> <p>楽しかったです。 見ていてすごく面白かったです。 チャレンジミュージカルは皆さんが生き生きと楽しそうにやっていて見てるこちらにも楽しめました。 盲導犬のことを知れました。スピードとかわかりました。 いろいろなことが学べました。とても楽しかったです。盲導犬は難しかったです。 通りすがりによってみたけど、いろいろためになった。またこのようなイベントをやってほしい。 障害者の活動を知ってもらいたいイベントだと思います。場所がわかりにくかった。 私はふれあいセンターで行われている手話講座に参加していて、このイベントを知りましたが、今日、参加できてとても面白かったです。いつもTVでしかほとんど見れない盲導犬を直接見れてよかったです。盲導犬のわんちゃんたちの忠実さ、けなげさはTVで見ただけでもとても打たれます。またこういうイベントがあったら是非参加したいです。 とても勉強になりました。 またこういう企画をお願いします。 子供達が楽しく幸せでありますように。 いろんなことを知れた。 コルトンでの開催、人が多く集まる場所とても良いと思います。今後もコルトンホールで。 スタッフとお客さんの区別がハッキリしないので、おそろいものを見つけると良い。会場が華やかさに欠ける。 この様なイベントは有用なので、もっと周知させてください。 偶然通りかかりました。私の住んでいる春日部、家の近くにもこの様な施設や私の友達の方もこういう施設(学校、集まる場所)を経営しております。皆さんとても明るく元気に活躍しておりますね。これからがんばって下さい。 コルトンホールの場所の記載がなく、困っていました。 すごく良かった！来年も出たい。 毎年開催してほしい。</p> <p>普段の教育の成果で広く披露(発表)する、こういう場があることを知り、とても良かった。もっと増え、こういうことが当たり前になってほしい。 皆一生懸命で良かった。 また参加したいです。福祉施設の生産品を購入したいです。 また来たい。 初めて参加しましたが共鳴と共感を得ました。 インターネットがないため、あまり情報がわかりません。チラシなどが入ると良いのですが！！</p>

## 居宅支援連絡会

### 1、27年度 活動報告

#### <第1回居宅支援連絡会>

日時 平成27年7月16日(木) 18:30~20:00

場所 ふれあいセンター

- ・報告
- ・研修

「障害者支援における薬剤師の役割について」

講師 西川永生堂薬局 薬剤師 西川 智昭氏

参加者 市内居宅介護事業所等 30名

#### <幹事会>

日時 6/23・11/7 18:00~19:30

### 2、28年度 活動計画

#### <テーマ> 活動(案)

5月・11月・2月 年3回予定

- ・居宅介護事業所の情報交換
- ・研修会の開催等

## 日中活動連絡会

### 1、27年度 活動報告

<定例会活動内容> 隔月 <場所> 午後15:00～ ふれあいセンター

日程	議題
第1回 (6/22)	・ 定例会 27年度日中活動連絡会担当者、27年度活動計画について 研修(連続講座)「問題行動を理解して支援に繋げるために」 公立障害者施設民営化における意見聴取について
第2回 (8/24)	・ 定例会 研修(連続講座)開催に向けて
第3回 (10/19)	・ 定例会 「梨香園、チャレンジ国分」民間移行について(施設課より)
第4回 (12/14)	・ 定例会 研修(連続講座)の感想と反省
第5回 (2/15)	・ 定例会 27年度総括&28年度計画 梨香園民間移行、事業者募集について(情報共有)

<研修会(4回連続講座)の開催>「問題行動を理解して支援に繋げるために」

実施:1回目:9/3(木) 2回目:10/1(木) 3回目:11/5(木) 4回目:12/3(木)

講師:高橋咲子氏 千葉県発達障害者支援センター

参加者:30人(公立4、レンコン4、いちばん星7、一路会4、ふれんど3、ハピネス3

TUBU1, サポートネット1、えくる1、しっぽふぁーれ1、大野学園1)

### 2、28年度 活動計画

<テーマ> 活動(案)

- ・ 日中事業所の情報交換
- ・ 市内日中事業所の交流会等(参加型、内部の講師等)
- ・ 公立の民間移行について
- ・ 地域生活拠点事業について(生活支援部会のテーマ)

<定例会活動予定> 隔月 <場所> 午後15:00～ ふれあいセンター

日程	議題
第1回 (6/20)	・ 28年度日中活動連絡会担当者、28年度計画について
第2回 (8/22)	・ 定例会
第3回 (10/17)	・ 定例会
第4回 (12/19)	・ 定例会
第5回 (2/20)	・ 28年度総括&29年度計画

## 市川圏域グループホーム等連絡協議会

### ●平成27年度 活動報告

#### 1. 総会

日時：平成27年7月31日

場所：ふれあいセンター第2集会室

協議内容：平成26年度事業報告・会則について・平成27年度事業計画・役員改選

#### 2. 例会兼管理者向け勉強会

回数	日時	場所	内容	講師
第1回	7月31日	ふれあいセンター	加算についての勉強会	松戸圏域グループホーム等支援ワーカー 桑田良子氏
第2回	10月15日	市川駅南公民館	1. 新規グループホーム紹介 (南台五光福祉協会 ねこざね) 2. 意見交換会(人材について) 3. サテライト型グループホーム についての実践報告	3. 大成会 磯田芳江氏 (成田市)

#### 3. 世話人勉強会

(場所：ふれあいセンター 講師・オブザーバー：市川健康福祉センター 山田真理子氏)

回数	日時	内容
第1回	8月25日	講演「障害のある方が暮らしやすい社会になるために」(千葉県条例) 参加者によるグループディスカッション
第2回	10月28日	講演「障害のある方が暮らしやすい社会になるために」(合理的配慮) 参加者によるグループディスカッション
第3回	1月27日	グループディスカッション「日々の支援で悩んでいること」(権利擁護) オブザーバーによる総評

#### 4. 管理者世話人合同勉強会(例会・世話人勉強会を兼ねる)

日時：2月24日

場所：ふれあいセンター

内容：「GH入居者の高齢化・重度化・看取りの実践報告」

参加者によるグループディスカッション・講師への質疑応答

講師：ロザリオの聖母会 荒井隆一氏 (旭市)

### ●平成28年 事業計画(案)

1. 総会兼管理者向け勉強会：年1回
2. 例会兼管理者向け勉強会：年1回
3. 世話人交流会：年2回
4. 世話人勉強会：年1回
5. 管理者世話人合同勉強会：年1回
6. ニーズ調査(実施に向けた調査方法の検討を含む)

生活支援部部会御中

重心サポート会議

関口 夏樹

重心サポート会議 27年度活動報告

1、重心サポート会議報告

開催回数 9 回 (5/29、6/26、7/27、8/24、9/18、10/19、11/16、12/21、2/22) 3/18 の 10 回 (予定)

<協議内容>

- ①ハートフルプランについて協議を行い、今後の取り組みに関し協議を行った。
- ②預かり、お泊り支援「どれみ」について協議を行った。
- ③相談支援等の重心の方たちへの在り方について話し合った。
- ④市川保健福祉センターの取り組みとして講演会を企画しおこなった。
- ⑤小児慢性特定疾病等についての現状や課題について話し合われた。
- ⑥各種研修会についての企画実施。
- ⑦事業所ガイドブック、来年度に向けての話し合い。(こども発達支援等)

2、どれみ♪について

①「キッズどれみ」(日中支援)について

8月22日に松香園で実施。医療的ケアを必要とするご利用者様を含み8名、スタッフ、ボランティア合わせて総勢49人が参加。

②「お泊りどれみ」(宿泊)について

10月17日～18日にNPO法人ポテトにて実施。医療的ケア、与薬が必要な方を含み一晩を過ごし、夕食は一般のレストランを利用。

3、研修会・勉強会について

①7/31「コミュニケーションの支援について」講師：井上みどり先生

・家族、サービス事業所、学校等 参加者 37名

②9/4「古武術を活用した介護」講師：岡田慎一郎先生

・家族会、サービス事業所等が参加 参加者 39名

③9/15、11/17、2/16「相談支援ミニ勉強会」

・相談支援者と重心の事業所の職員との顔合わせ課題や疑問についてや他の障害の方との共通点等についても話し合われた。参加者1回目38名・2回目38名・3回目16名 (平均30名)

④施設説明会(市内肢体不自由児者受け入れ)主催：肢体不自由児者父母の会

・市内の通所事業所や児童デイを行っている事業所6団体による説明会

⑤「重症心身障害児者支援研修会」講師：浅田二郎先生

・昨年度に続く講習会でも中上級者向けに、脳性麻痺についてより専門的な講義及び実技を実施。

参加者 1回目46名・2回目31名・3回目26名 (平均34名)

4、平成28年度活動計画について

- ・現在まで行ってきた「どれみ」等から重心サポートとして目指す方向性の再確認を行い、「各事業所(設備面等)」、「スタッフ(技能面等)」を明確に設定し今後の発展させた形態を掴む。
- ・仮称「重心のガイドライン・テキスト」(厚労省)を活用し相談支援専門員や施設職員向けに定期講座として勉強会等を開催する等です。

以上

平成 28 年 3 月 17 日 (木)

## 就労支援部会報告

## ○就労支援担当者会議

## 1. 雇用促進セミナー

日時：平成 28 年 2 月 19 日 (金) 場所：市川市役所本庁第五委員会室

内容：障害者雇用制度の紹介、チャレンジオフィスいちかわの見学、いちされん企業支援員からの他社雇用事例などの紹介 など

結果：参加事業所数 12 社 (うち職場体験実習経験の社は 3 社)

→障害者の実際に働く姿は参考になった。一方で各社の状況とのギャップ

## 2. 就労支援部会研修「障害のある人が『働く』ということ」 3 月 18 日 (金)

内容：基調講演、パネルディスカッション、小グループによるディスカッション等

## 3. 年間の振り返り

## ①ふくたんととの連動、部会としての企画

- ・合同面接会に合わせたステップアップコーナーの開催 (10 月)
- ・働くと障害についての研修の実施 (3 月)

## ②特別支援学校向けの就労移行事業所合同説明会実施 (5 月)

## ③就労支援に関する事例検討 (毎月)

各移行事業所で行っている就活支援、定着支援 (余暇支援含む) について、各機関のレベルアップと、支援方法の共有化などを目的として事例検討を実施した。

## ○福祉的就労担当者会議

## 1. お仕事情報の共有

企業からの業務発注について、情報共有。受注状況の確認、追跡等。

業務発注から仕事を行うまでの流れと伝助の活用について。

仕事の情報をメールで発信し、3 日以内に各事業所で内容を確認する。その後、伝助 (ネット上の掲示板可・不可・検討をチェック。確認後、担当事業所が連絡を入れる。

## 2. 研修会について

- ・平成 27 年 10 月 8 日に合同面接会が開催され、フクタンの担当者 (2 名) で働くために役立つ障害福祉サービスについて情報提供を行っている。

- ・平成 28 年 3 月 18 日に就労支援部会研修会「障害のある人が『働く』ということ」についてパネルディスカッション「それぞれの現場で感じること」のパネラーをスタジオ ぽっとハート廣田氏、スクラム砂金氏が行う事となる。

## 3. 事例検討について

個人情報を取り扱う事から、守秘義務を順守する為、誓約書を作成し署名を行う。

年間を通して、実施する。主に利用者の検討内容が多いが、新人職員の事業所での働き方なども議題に上がる。本人の就労に結び付ける前の生活面の悩み、家族や支援を行う者の悩みなど、総合的な悩みを発言できる場として、次年度以降も続けていく必要がと思われる。

以上

## 平成27年度第4回自立支援協議会 障害者団体連絡会資料

障害者団体連絡会定例会（平成28年2月2日）

①介護保険について勉強会（市川市介護福祉課）

基礎的な介護保険の知識について

②防災対策の意見交換について

基本的に、要配慮者に対しての備蓄品や要援護者名簿の取り交わしや避難場所へ行けない障害者の事については、継続審議になりましたが、要配慮者マニュアルについて障害者団体の要望を聞き入れ、改定時には反映していきたいとの旨でした。

③啓発パンフレットについて

別紙参照

④障害者週間について

12月5日の報告

#### 議題

①27年度予算執行について

計17団体が会費納入

②28年度活動予定

1、防災対策について

2、啓発活動について

3、勉強会 課題解決のアンケートや福祉政策について

③28年度予算について

④役員任期に伴う人事選出について

役員8名のうち7名が継続

⑤自立支援協委員推薦について

次回の定例会 平成28年5月17日に決定

## 年間活動報告

障害者団体連絡会本会議 計4回

役員会 計4回

### ①民生委員啓発活動

民生委員地区長会議 プレゼン 計1回

地区民生委員啓発活動 南行徳地区 大和田稲荷木地区 計2回

手をつなぐ親の会 キャラバン隊空で行いました。

### ②防災対策

総合防災訓練約30名参加

アンケートをまとめ、市に要望書提出、市との意見交換を行う

### ③市との共催 講演会「知ることから始めよう！障害者権利条約と障害者差別解消法」

10月3日、関係者を入れてだが100名以上参加

勉強会 介護保険の基礎的知識

### ④障害者週間

12月5日ニッケコルトンプラザで開催

生活支援部会に協力 来客者450名以上

### ⑤啓発パンフレット

別紙参照

### ⑥自立支援協委員派遣

障害者団体連絡会から当事者5名、家族1名参加

### ⑦障害者団体連絡会

各団体より会費徴収し、事務局も市から独立へと移行

## (仮称) 市川市障害者啓発パンフレット企画書

市川市障害者団体連絡会・啓発パンフレット編集長・富岡太郎

目的：市川市内の一般市民に対して、市川にも様々な障がいを持つ人が暮らしていることを知ってもらうとともに、同じ仲間として共に生きるために、必要な知識を分かりやすく知ってもらうことを目的とする。

合わせて、パンフレットをきっかけとして、障がいを持つ人と市民の交流を促進することを目的とする。

原案（決定稿ではありません）：「みんなこの街に暮らしています」副題「知ることからはじめよう！」（A4版26ページ）

（各ページに各障害者団体等の連絡先をのせます）

予算案：現時点では、支出・収入ともに91万円の予算案を組んでいますが検討中です。（カラー版となる予定です）。

資金計画：障害者事業に対する助成金制度が存在するので応募する予定です。助成金が受けられなかった場合、市内の企業等に協賛金を募ります。この場合、パンフレットに協賛企業名の掲載などを検討します。

配布計画：市内の小学校・中学校・高校など各学校の児童・生徒・保護者・教師に読んでもらえるように、教育委員会に相談します。小学校だけで757クラスあり、クラスに1冊は配布したいと考えています。また、市内の民生委員450人に配布、自治会も235あるので会長さんに配布を考えています。その他、各行政機関、福祉関係団体、図書館、公民館、その他交通機関、金融機関、不動産関係などの法人団体へも配布を考えています。（部数は3000部を計画中です）。

最後に：市長あるいは社会福祉協議会会長のあいさつを加えたいとの意見が出ています。

# 市川市自立支援協議会および 専門部会の今後について

- 再編を検討した理由
- 生活支援部会は生活全般と人材確保・育成・啓発というテーマで活動をしてきた。里見祭・ハートフルセミナー・障害者週間・移送の検討など多くの成果をあげている。
- 一方テーマが広く、絞りきれない。
- 施策に反映させることが難しい課題も多く、苦慮する。

# 検討した結果

- 第2次ハートフルプランの重点施策を意識した取り組みを各専門部会で進める
- 専門部会のあり方や各連絡協議会との連携については、引き続き課題との認識を持つ
- 生活支援部会については、地域生活支援拠点をテーマとして絞り議論する。
- 相談支援部会・就労支援部会は部会を継続し、内容は精査するという方向

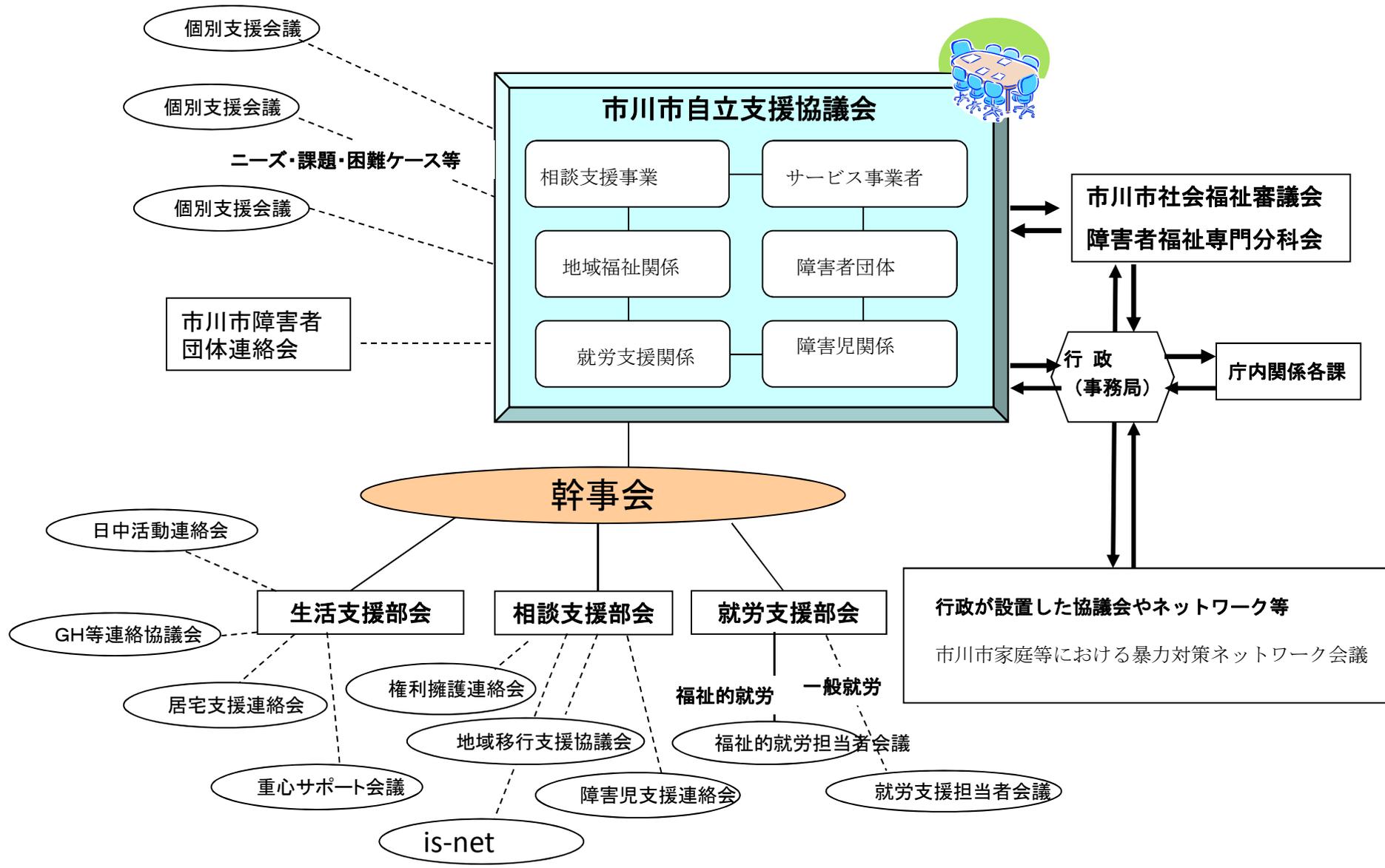
# 第2次いちかわハートフルプラン 重点施策と専門部会との関連

- 相談支援・権利擁護体制の充実→相談支援部会
- 就労支援の推進→就労支援部会
- 地域生活の充実→生活支援部会等
- 災害対策の推進→市川市障害者団体連絡会等
- 障害児支援の推進→こども発達支援会議  
障害児支援連絡会
- 人材の確保と育成→各部会

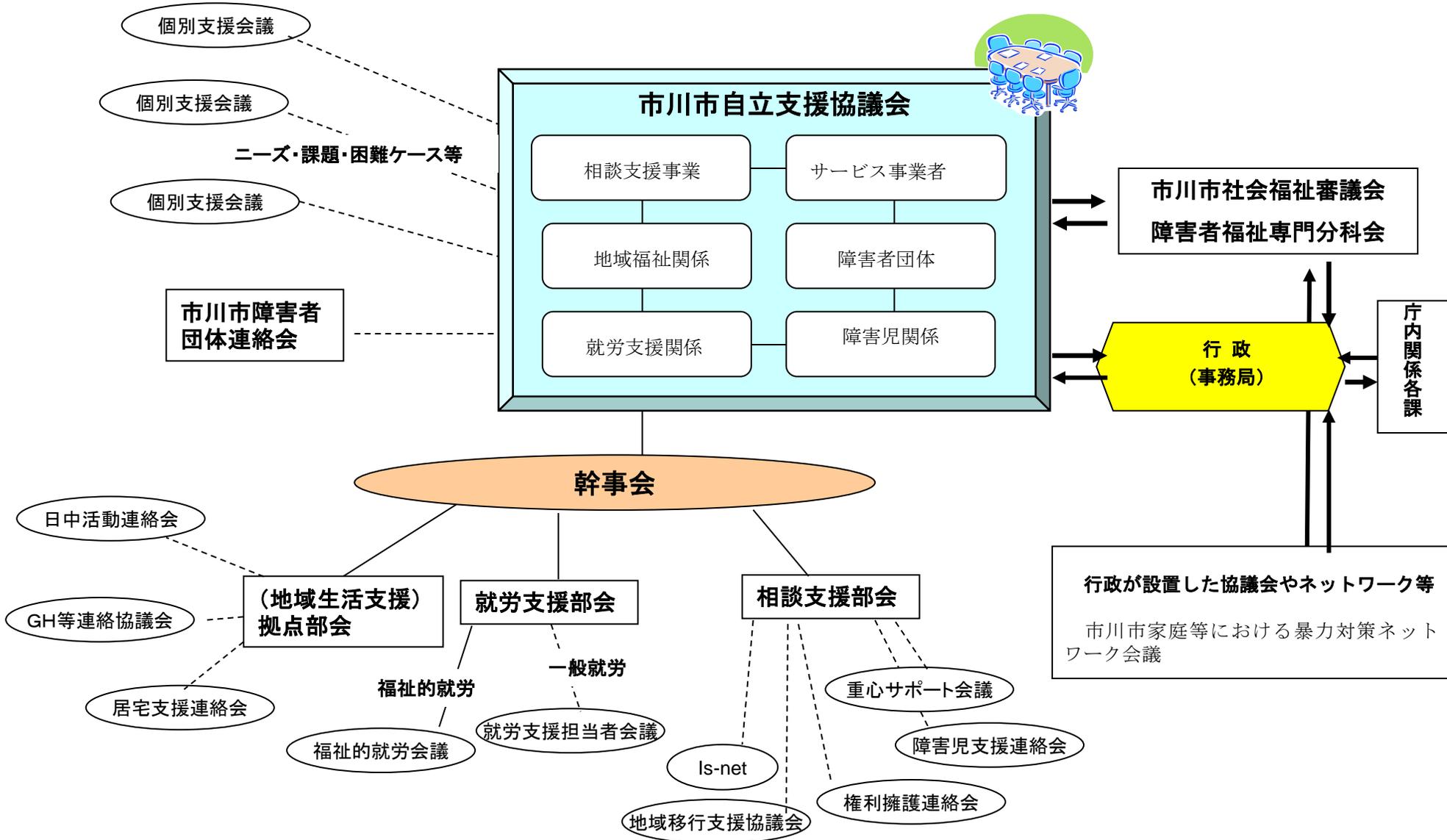
# 今後に向けて

- 部会のあり方の検討は引き続き必要
- 連絡協議会の生かし方は課題
- 啓発活動への取り組み（里見祭・障害者週間等）

# 市川市自立支援協議会の関係図(平成27年度)



# 市川市自立支援協議会の関係図(平成28年度案)



## ○平成28年度の自立支援協議会の進め方

- ・災害対策への取り組み

「防災訓練への参加」または「福祉避難所の運営に関する協議」を当面のゴールに想定し、第1回で市の防災体制について学習する。

- ・(地域生活支援)拠点部会と相談支援部会の関係プロジェクトは設けず、拠点部会(年7回開催)のうち2回程度相談支援部会のメンバーが参加する形で協議を進める。

## 市川市自立支援協議会委員

	委員氏名	団体名	委員分類
1	朝比奈 ミカ	中核地域生活支援センター がじゅまる	相談支援事業者
2	長坂 昌宗	基幹型支援センター えくる	相談支援事業者
3	酒井 範子	社会福祉法人サンワーク サンワーク相談支援事業所	相談支援事業者
4	松尾 明子	特定非営利活動法人ほっとハート ほっとハート相談支援事業所リンク	相談支援事業者
5	磯部 利江子	社会福祉法人一路会 地域生活支援センターCan	相談支援事業者
6	三浦 健	社会福祉法人南台五光福祉協会 やまぶき園	相談支援事業者
7	金 聖華	特定非営利活動法人千葉精神保健福祉ネット サポートネット国府台	相談支援事業者
8	西野 美喜子	特定非営利活動法人生きがいと助けあいSSU市川 SSU介護サービス	相談支援事業者
9	森田 美智子	日中活動連絡会	サービス事業者
10	宮本 正栄	グループホーム等連絡協議会	サービス事業者
11	木本 頼子	地域移行支援協議会(病院)	サービス事業者
12	内野 智美	居宅支援連絡会	サービス事業者
13	永井 洋至	重心サポート会議	サービス事業者
14	保戸塚 陽一	障害児支援連絡会	サービス事業者
15	小井土 栄一	障害者就労支援センターアクセス	就労支援関係者
16	大井 好美	障害者団体連絡会	障害者団体
17	富岡 太郎	障害者団体連絡会	障害者団体
18	田上 昌宏	障害者団体連絡会	障害者団体
19	植野 圭哉	障害者団体連絡会	障害者団体
20	木下 静男	障害者団体連絡会	障害者団体
21	中村 正武	障害者団体連絡会	障害者団体
22	山崎 泰介	社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	権利擁護・地域福祉関係者
23	椎名 美幸	市川市立須和田の丘支援学校	障害児支援関係者
24	竹野 友梨香	県立船橋夏見特別支援学校	障害児支援関係者

市 川 市 自 立 支 援 協 議 会 相 談 支 援 部 会 名 簿

	委員氏名	団体名	分類
1	宮本 正栄	中核地域生活支援センター がじゅまる	自立支援協委員
2	長坂 昌宗	基幹型支援センター えくる	自立支援協委員 (幹事)
3	三浦 健	is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)(幹事)
4	酒井 範子	is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)
5	金 聖華	is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)
6	松尾 明子	is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)
7	西野 美喜子	is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)
8	保戸塚 陽一	is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)
9	内野 智美	is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)(幹事)
10	宇野 健司	is-net	指定相談支援事業者
11	小井土 栄一	障害者就労支援センターアクセス	自立支援協委員
12	植野 圭哉	障害者団体連絡会	自立支援協委員
13	木下 静男	障害者団体連絡会	自立支援協委員
14	山崎 泰介	社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	自立支援協委員

平成27年度 市川市自立支援協議会 生活支援部会 名簿

	氏名	所属	種別	備考
1	マツオ アキヨ 松尾 明子	特定非営利活動法人ほっとハート 相談支援事業所リンク	相談支援	幹事 自立支援協議会委員
2	イノベ リエコ 磯部 利江子	社会福祉法人 一路会 かしわい苑	通所事業所	副幹事 自立支援協議会委員
3	ミウラ タケン 三浦 健	社会福祉法人南台五光福祉協会 やまぶき園	短期入所・相談支援・GH	自立支援協議会委員
4	ミノ ヨウコ 水野 庸子	市川市福祉公社	居宅	自立支援協議会委員
5	オオツカ シゲル 大塚 茂	ヒノデ第一交通株式会社市川営業所	居宅	
6	モリタ ミチコ 森田 美智子	社会福祉法人 いちばん星	通所事業所	自立支援協議会委員
7	ミソエ ハルエ 三添 晴江	社会福祉法人サンワーク	GH・CH	
8	セキグチ ナツキ 関口 夏樹	ふれんど舎	相談支援・重心	
9	ミヤモト ショウイ 宮本 正栄 タケダ ヨウイチ 武田 陽一	中核地域生活支援センター がじゅまる	グループホーム支援ワーカー	
10	ムラヤマ ソノ 村山 園	市川手をつなぐ親の会	生活ホーム	
11	アンダ シンゴ 芦田 真伍	基幹型支援センターえくる	基幹型支援センター	副幹事
12	ウラバヤシツバサ 浦林 翼	特定非営利活動法人リカバリーサポート センターACTIPS訪問看護ステーションA CT-J	訪問看護ステーション	
13	マツザキ アキトシ 松崎 明寿	特定非営利活動法人ほっとハートピアリ ズム	地域活動支援センター	
14	キノシタ シズオ 木下 静男	日本オストミー協会千葉県支部 千葉県オストミー協会	市川市障害者団体連絡会	自立支援協議会委員
15	トミオカ タロウ 富岡 太郎	なんなの会	市川市障害者団体連絡会	
事務局				
1	マツマル ヒロシ 松丸 弘	障害者施設課 梨香園		
2	シンジョウ コ 新正 みち子	障害者支援課 大洲地域生活支援センター		
3	エンドウ ユウスケ 遠藤 勇佑	障害者支援課		
4	ワタナベ ユミコ 渡辺 由美子	障害者支援課 南八幡メンタルサポートセンター		

市 川 市 自 立 支 援 協 議 会 就 労 支 援 部 会 名 簿

	委員氏名	団体名	分類
1	酒井 範子	社会福祉法人サンワーク	自立支援協委員 (幹事)
2	小井土 栄一	障害者就労支援センターアクセス	自立支援協委員 (幹事)
3	大井 好美	障害者団体連絡会	自立支援協委員 (幹事)
4	西村 拓士	障害者就業・生活支援センター いちされん	関係機関
5	福嶋 ますみ	市川公共職業安定所	関係機関
6	山澤 則夫	市川商工会議所	関係機関
7	福山、西田	千葉県立市川特別支援学校	特別支援学校
8	高瀬 浩司	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園	特別支援学校
9	芳賀、桑形	市川市立須和田の丘支援学校	特別支援学校
10	富江 民子	市川手をつなぐ親の会	関係機関
11	叶内 公基	株式会社A. ver 就労移行支援事業所リバーサル市川	就労移行支援事業所
12	奥澤 太郎	社会福祉法人サンワーク パル	就労移行支援事業所
13	砂金 一平	就労継続支援B型事業所 古書肆スクラム	就労継続支援B型事業所
14	伊藤 拓	社会福祉法人一路会 多機能型事業所コスモ コレット	就労継続支援B型事業所

事務局

		障害者支援課	
		障害者施設課	

## 市川市自立支援協議会委員（平成28年度案）

	委員氏名	団体名	委員分類
1		中核地域生活支援センター がじゅまる	相談支援事業者
2		基幹型支援センター えくる	相談支援事業者
3		is-net	相談支援事業者
4		is-net	相談支援事業者
5		is-net	相談支援事業者
6		is-net	相談支援事業者
7		is-net	相談支援事業者
8		is-net	相談支援事業者
9		日中活動連絡会	サービス事業者
10		グループホーム等連絡協議会	サービス事業者
11		居宅支援連絡会	サービス事業者
12		千葉県市川健康福祉センター	精神保健福祉関係者
13		和洋女子大学	学識経験者
14		アクセスorナカボツイちされん	就労支援関係者
15		福祉的就労担当者会議	就労支援関係者
16		障害者団体連絡会	障害者団体
17		障害者団体連絡会	障害者団体
18		障害者団体連絡会	障害者団体
19		障害者団体連絡会	障害者団体
20		障害者団体連絡会	障害者団体
21		障害者団体連絡会	障害者団体
22		社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	権利擁護・地域福祉関係者
23		市川市民生委員児童委員協議会	権利擁護・地域福祉関係者
24		検討中	障害児支援関係者
25		千葉県市川児童相談所	障害児支援関係者

## 今期の基本的な考え方

- 「地域生活支援拠点(基幹相談支援センター含む)」「障害児」「重心」の課題に力点を置いたメンバー構成にする。
- サービス事業者を減らし、外部の機関や学識経験者など「外の風」を入れる。
- 女性委員の割合36%(9人)以上を目指す。
- 「サービス事業者」は「(地域生活支援)拠点部会」に、「就労支援関係者」は「就労支援部会」に、「相談支援事業者」は「相談支援部会」に、それぞれ位置づけ、うち各2~3人で幹事を担う。
- is-netからの選出枠はそれぞれ「地域移行・定着」「障害児」「知的障害」「身体障害(重心)」「精神障害」に主に取り組んでいる事業者から選出してもらう(残り1つは任意)。
- がじゅまるからは、「中核地域生活支援センター」のほか「so-ra」における地域課題についても扱ってもらう。
- その他、単発的に本会議(部会)への出席を依頼検討すべき人(機関)として「警察署」「消防署」「特別支援学校」「精神科病院」「防災担当課(地域防災課or危機管理課)」などが挙げられた。

市 川 市 自 立 支 援 協 議 会 相 談 支 援 部 会 名 簿

	委員氏名	団体名	分類
1		中核地域生活支援センター がじゅまる	自立支援協委員
2		基幹型支援センター えくる	自立支援協委員
3		is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)
4		is-net	指定相談支援事業者 (自立支援協委員)
5		is-net	指定相談支援事業者
6		is-net	指定相談支援事業者
7		is-net	指定相談支援事業者
8		is-net	指定相談支援事業者
9		権利擁護連絡会	
10		地域移行支援協議会	
11		障害児支援連絡会	
12		重心サポート会議	
13		障害者就労支援センターアクセス	
14		任意参加	自立支援協委員
15		任意参加	自立支援協委員
16		社会福祉法人 市川市社会福祉協議会	自立支援協委員

事務局

		障害者支援課	
		発達支援課	

今期の基本的な考え方

○本会議の委員を減らし、多様な立場からの参加、意見を集められる機会を増やす。

○is-netからの出席者の選出は、is-netに委ねる。

○周辺会議からの代表者を明確に位置づけ、毎回活動状況を報告してもらうとともに、適宜必要な協議をできるようにする。

○就労関係については、本会議ではアクセスまたはいちされんとしているが、市の委託事業として相談の一翼を担っている

という観点から、ここではアクセスとする。

○本会議委員で、任意に参加希望がある場合(団体連絡会や学識など)は、基本的には受け入れる。そのため、この枠

については特に定員は設けない。

平成28・29年度 市川市自立支援協議会 生活支援部会  
地域生活支援拠点あり方検討会 委員案

	氏名	所属	分類
1		特定非営利活動法人ほっとハート 相談支援事業所リンク	相談・精神
2		社会福祉法人 一路会 かしわい苑	通所・GH・レスパイト・知的・重心
3		社会福祉法人 いちばん星	通所・GH・知的
4		社会福祉法人南台五光福祉協会 やまぶき園	入所・短期・相談・GH・知的
5		市川市福祉公社	居宅・相談
6		社会福祉法人サンワーク	通所・GH・精神
7		特定非営利活動法人ふれんど	相談支援・重心
8		社会福祉法人レンコンの会	グループホーム支援ワーカー
9		市川手をつなぐ親の会	生活ホーム・知的
10		基幹型支援センターえくる	基幹型支援センター・重心・児童
11		社会福祉法人レンコンの会	レスパイト・知的・南部
12		千葉精神保健福祉ネット ハピネス 行徳	GH・精神
13		心の健康を守る会家族会松の木会	家族・精神
14		任意参加	自立支援協議会委員
15		任意参加	自立支援協議会委員

事務局

1		障害者施設課	
2		障害者支援課 大洲地域生活支援センター	
3		障害者支援課	
4		障害者支援課 南八幡メンタルサポートセンター	

※ 他の部会との重複は避ける

※ 必要時意見を聞くため、必要時関係者の参加をお願いする  
予定

市川市自立支援協議会就労支援部会名簿

	委員氏名	団体名	分類
1		アクセスorいちされん	自立支援協委員 (幹事)
2		福祉的就労担当者会議	自立支援協委員 (幹事)
3		任意参加	自立支援協委員
4		アクセスorいちされん	関係機関
5		市川公共職業安定所	関係機関
6		市川商工会議所	関係機関
7		千葉県立市川特別支援学校	特別支援学校
8		千葉県立特別支援学校市川大野高等学園	特別支援学校
9		市川市立須和田の丘支援学校	特別支援学校
10		市川手をつなぐ親の会	関係機関
11		就労支援担当者会議	就労移行支援事業所等
12		就労支援担当者会議	就労移行支援事業所等
13		福祉的就労担当者会議	就労継続支援事業所等
14		生活サポートセンターそら	関係機関
15		いちかわ若者サポートステーション	関係機関

事務局

		障害者支援課	
		障害者施設課	

基本的な考え方

○ふくたん代表を本会議メンバーに加えた上で、幹事を担ってもらう。

○アクセスかいちされんを本会議メンバーの「就労支援関係者」の枠に位置づけたので、その委員に幹事を担ってもらうととも

に、本会議委員にならなかったほうは就労支援部会委員になってもらう。

○困窮者の就労支援を視野に入れて「そら」を、若年層の就労支援を視野に入れて「若者サポステ」を、それぞれ新たに加える。

○本会議委員で、任意に参加希望がある場合(団体連絡会や学識など)は、基本的には受け入れる。そのため、この枠

については特に定員は設けない。